

Summary of Happy Smile Festival in Mondulkiri, 28th December 2012

1) Happy Smile Festival の目的

Happy Smile Festival (HSF)は口腔保健に関するお祭りである。HSF を通してモンドルキリ州住民に対し歯科・口腔保健の知識を分かりやすく解説し、個々の住民が主体的に歯科・口腔保健活動に取り組めるように意識付けすることを目的としている。また、住民の健康管理の責務を負うモンドルキリ州の保健局(PHD)、教育局(POE)が歯科・口腔保健活動を主体的に、そして積極的に取り組む契機になることを目指している。

2) HSF スケジュール

時間	プログラム内容	
07:30-08:00	開会式: OISDE 理事長、ヘルスサイエンス大学(UHS)歯学部学部長、モンドルキリ州副知事による挨拶	
08:00-08:10	OISDE 職員による HSF の紹介	
08:10-08:30	PHD 職員 (OISDE 事業協力者) によるプレゼンテーション 「OISDE の事業紹介: モンドルキリ州住民に対する口腔保健活動の普及・定着」	
08:30-08:50	地元の子供達による民族舞踊	
08:50-9:20	Dental Care Assistant (DCA)による 口腔保健教育 *DCA: OISDE がトレーニングを実施している地域 口腔保健指導者	SETRA*による歯科健診及び歯科治療(抜歯) *UHS の学生遠隔地実習
09:20-9:50	口腔保健に関するクイズ大会	
09:50-10:10	くじ引き大会	
10:10-10:40	UHS 学生による劇 演目: 「It's time to smile again!」	
10:40-11:00	Happy Smile Prize の発表	
11:00-11:10	閉会式: UHS 副学部長による挨拶	





3) 結果ならびに考察

- 計 238 名の住民が HSF に参加した。関係当局の協力もあって歯科・口腔保健の知識を分かりやすく解説し、個々の住民が主体的に歯科・口腔保健活動に取り組めるように意識付けができたと考える。
- 事前に州当局より住民ならびに児童各 100 名を HSF に招待したとの報告を受けていたが、全参加者のうち 80%以上が学生であった。今回、州当局からの報告を受けて OISDE は積極的に HSF の広報活動を行っていなかった。全ての年齢層において口腔保健を推進する意味で成人の積極的な参加を促す努力をすべきであった。

- PHD・POE との話合いを契機に州知事ならびに州当局関係者を HSF に招待することとなった。今回副知事をはじめとして多数の州関係者が参加し、HSF は住民だけではなく州の口腔保健活動に対する関心を得る契機になったと捉える。
- PHD 歯科医師が積極的に HSF 準備・運営を実施しており、今回の HSF 実施を通して PHD に対して技術移転ができたと捉える。

5) 結論

HSF は成功裏に終了し、住民ならびに州当局が口腔保健の重要性を理解し、今後モンダロキリ州において口腔保健を推進していく上で本 HSF が重要な契機となったと結論づける。